

---

北海道労働金庫

---

<報告事項>

1. 「中期経営計画（2022～2024年度）」「2022年度事業計画」（原案）について
2. 第2次会員討議資料 新たな配当政策（案）について

---

全道推進会議

---

<報告事項>

1. つなぐプロジェクト推進運動の取組み

- (1) 全道推進会議総会（4/15）にて、つなぐプロジェクトにおける独自重点項目を設定し、地域の特性に合った好事例を「パイロット推進委員会の取組み」として共有することを方針化したことをふまえ、第2回全道推進会議（10/26）にて、つなぐプロジェクトに関する「各店・出張所推進委員会の好事例」の共有化・取組み強化を図りました。
- (2) 各種取組みの結果、2021年12月末時点での「つなぐプロジェクト」対象項目の新規取引実績は35,205件、「北海道ろうきんATM利用件数」は1,158,661件となり、利用実績に応じた福祉団体への寄付見込額は4,679千円となりました。

【対象項目実績】

No	項目	年間目標	12月末実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,100	15,298	84.5%
②	預金（財形・エース・お子さま口座）	6,535	4,779	73.1%
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	15,122	13,510	89.3%
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	1,921	1,618	84.2%
	合計	41,678	35,205	84.5%

【北海道ろうきんATM利用件数】

項目	件数
北海道ろうきんATM利用件数	1,158,661件

2. 職域活動費の効果的な活用

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は、2021年12月末時点で150回、延べ2,935名の出席となり、コロナ禍ではあるものの、会員組合員との接点強化が図られました（内、WEBを活用した学習会は6回となりました）。
- (2) 主に、「新人・若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「退職者説明会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は、2021年12月末時点で4,492,619円となりました。

### 3. 「家庭に届け！ いいこと R（アール）キャンペーン」周知活動

- (1) 職域での個別オルグに制限がある現状をふまえ、会員組織主導での「家庭へのろうきん周知」によりろうきん運動を拡げるべく、10月より「いいこと R キャンペーン」を実施しました。
- (2) 12月末現在で1,673名の応募となっており、家庭内での周知が図られています。

<組合員から寄せられた声>

- ①ぬりえは、まさに家庭に持ち帰り（家庭に届け！）、家族で楽しく参加することが出来ました。
- ②クロスワードパズルの応募フォームが二次元バーコードのため、応募用紙を提出することなく、簡単に応募が出来て良かったです。
- ③5歳の娘が楽しくぬりえをしていました。ロッキーは知っていましたがピンキーは知らなかったです。家族で楽しめて良かったです。

### 4. 「ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2021」周知活動

- (1) 各店・出張所推進委員会や友の会が、集合形態のイベント開催に苦慮するなかで、広く会員組合員とその家族（友の会含む）が楽しく気軽に参画でき、幅広い世代からろうきんファンを拡大するWEBイベント「ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2021」を11月より実施しました。
- (2) 12月末現在で80名から応募作品があり、会員組合員とともに、友の会の皆さんも参画されています。
- (3) 応募作品は、ろうきんホームページの特設ギャラリーにて、全作品が定期的にアップされています。

<組合員から寄せられた声>

- ①コロナ禍に負けぬように、工夫を凝らしたイベントに感謝とお礼を申し上げます。各地からの応募作品を見て、とてもやさしい気持ちになりました。
- ②スマホに撮りためていた写真を昼休憩時に気軽に応募してみました。
- ③このような企画があると嬉しく思います。これが単発で終わることなく、テーマを変える等、「ろうきん」と利用者をつなぐものとして、末永く続くことを願っています。

#### <協議事項>

##### 1. 連合北海道 2022 春季生活闘争における「ろうきん運動」の取組み

- (1) 連合北海道は、第81回地方委員会（2021年12月23日）にて、2022春季生活闘争方針における「新生活様式下における『ろうきん運動』の推進」を確認しました。
- (2) 全道推進会議としては、「2022春季生活闘争地域討論集会」にて、春闘ゾーンにおける「新生活様式下における『ろうきん運動』の推進」の取組強化を確認・実践すべく、労福協を通じた運動を強化していきます。

2022 春季生活闘争方針「新生活様式下における『ろうきん運動』の推進」の取組み

##### ① 非対面ニーズへの対応

- ア. かんたん通帳機能や残高・入出金明細照会等が利用でき、組合員の利便性向上に資する「ろうきんアプリ」や「エコ通帳（無通帳型普通預金口座）」を推進します。

イ. 組合員ニーズに合致した、「WEB 完結型融資商品（轟ローン・教育ローン・カードローン マイプラン）」の周知活動を展開します。

ウ. 「ろうきんホームページ組合員様専用サイト」内に掲載されている、①ろうきん News、②機関紙用データ、③WEB アンケート BOX を効果的に活用します。

## ② つなぐプロジェクト推進運動

「つなぐプロジェクト件数目標」と「会員自主目標推進運動」の連動を強化することで、「会員組合員メインバンク No. 1 運動」を進めます。

また、「会員自主目標の達成」に向け、職域活動費を有効活用した学習会・セミナーを開催し、ろうきん運動の前進を図ります。

## ③ 各階層におけるろうきん運動の推進

### ア. 退職金結集運動

「組合役員によるオルグ」「退職に向けた資産形成に関する学習会」を通じて、ろうきんへ退職金を結集する運動を展開します。

### イ. 若年・女性・非正規雇用組合員に対する取り組み

フルキャッシュバックサービスやろうきんアプリを周知しながら、「ろうきんメインバンク推進（お子さま口座を含む口座開設・給与振込）」「将来に向けた資産形成（財形貯蓄・iDeCo・つみたて NISA）」「低金利の融資商品利用」の取り組みを展開します。

## ④ 可処分所得向上運動の推進

「銀行カードローン問題への対応（ろうきんカードローンの保有・活用）」「他行高金利ローン借換」「奨学金借換ローンの推進」により、組合員の可処分所得向上を図る取り組みを展開します。

## 2. 各種取り組みの周知活動

### (1) 「無担保 3 商品」新規金利引き下げ

① 会員組合員の融資資金ニーズに応えるべく、会員組合員への「応援金利」として2月1日より、無担保融資 3 商品（\*）を対象とした新規金利引き下げの周知活動を展開します。

\* 対象商品：①轟ローン・轟先生・轟ほっと、②教育ローン、③無担保住宅ローン

② 新規金利引き下げにて、「競争力のある金利水準の周知活動」を通じた「組合員の利用拡大」に取り組むことで、ろうきんメインバンク No. 1 運動を着実に推進します。

### (2) 「家庭に届け！ いいこと R（アール）キャンペーン」「ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2021」

多くの組合員が参画するよう、周知活動を継続します。

## 3. 役員の変更

組織の役員改選等により下記のとおり変更となります。

<新任役員>

役職	新任役員氏名	所属組織
副議長	永田 重人	連合北海道組織対策局長
副議長	真壁 英治	北海道退職者連合事務局長
幹事	長谷川 義樹	連合渡島地協事務局長
幹事	松田 潤	連合胆振地協事務局長
幹事	宮森 貴大	連合宗谷地協事務局長

以上